

環境にやさしい生活を広げたい

# ダンボールコンポストで 生ゴミ処理!



## 1 さー、はじめましょう。 準備しましょう。

## 2 設置しましょう。

### 準備するもの

#### 箱

- ダンボール箱  
縦30cm×横40cm×深さ30cm…みかん箱程度の箱の大きさ
  - その他、箱の底を2重にするためのダンボール
- 注：①防水加工をしていないもの。  
②ダンボールが二重の、厚みのあるダンボール箱  
③底は紙テープで止める  
④手持ちの穴は塞いでおく  
⑤底に敷くダンボールは他のダンボールで準備

#### 道具

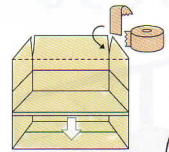
- ガムテープ
- 苗箱や網状の箱  
(箱を地面から5cmほど浮かせておく為の道具) 底面は密着させない
- スコップ・木べら (基材をかき混ぜるもの)
- コンポストキャップ  
(男物のTシャツなどの古着の上部をカットしたもので工夫)  
虫よけ、保温効果のためのカバーです。

#### 基材

- ピートモス (有機質土壌改良剤) 15%
- もみ殻くん炭 (イネの籾殻をいぶし焼いて作ったもの)  
10%基材は園芸店やホームセンターで手に入ります

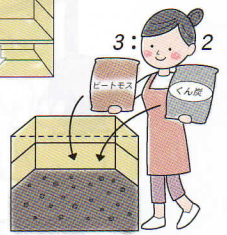
### ①ダンボールを組み立てましょう。

- ・底は紙テープ (防水加工していないもの) で止める
- ・ダンボールの底は二重にしましょう。
- ・手持ちの穴、すき間をふさぎましょう。  
(虫よけのため)
- ・深さのない箱はふたの部分を立て、ガムテープで四隅を止めます。
- ・厚めの箱がなければ、箱の中に箱の二重箱に



### ②基材

- ・ピートモス・籾殻薫炭 (3:2) をダンボール箱に移しよく混ぜましょう
- ご希望の方は、高松市廃食油収集日に合わせて、  
基材 (ピートモス15ℓ・籾殻薫炭10ℓ) を500円にて提供できます。高松市環境プラザ・各地域コミュニティの消費者団体がお世話しています。



### ③おき場所を決めましょう。

- ・雨がかからない、日当たりのよい場所。  
(軒下・ベランダなど)
- ・風通しのよい台にダンボールを置きましょう。

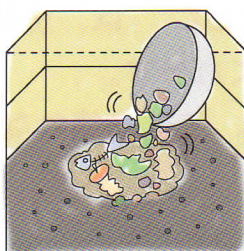


## 3 いいよ ゴミの投入! 生ゴミを入れましょう。

生ごみは1日500g～1kgを目安に投入し、よく混ぜましょう。

- ・生ごみはなるべく新しいうちに投入、大きなものはカット。
- ・改めて水切りをする必要はありません。
- ・毎日まぜましょう。箱近くを混ぜすぎないのがコツ。
- ・温度を上げる工夫 一握りの米ぬかや少量の廃食油の投入。
- ・臭いには、みかんの皮、コーヒー粕を投入。
- ・乾燥には コップ1～2杯の水を。(水分量70%まで)
- ・生魚・生肉などは お湯をかけると安心
- ・虫には、温度を上げる。

必ずコンポストキャップをかぶせる。



## 4 3カ月ほどで終了。

- ・熟成期間は2週間～1ヶ月。1週間に1回程度水分を与え、混ぜて分解を進めます。
- ・生ゴミの形がほとんどなくなって、水分を与え手も温度の上昇がなくなれば堆肥の出来上がり。

お問い合わせ

高松市消費者団体連絡協議会

TEL 087-839-2067